

基本情報

指標番号
3373

名称
周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：肺切除術（開胸）

分母
肺切除術（開胸）が行われた症例

分子
手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標群
周術期抗菌薬予防投与

意義
周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ 又は SBT/ABPC）をみるプロセス指標

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット
DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

診療行為コード	基本漢字名称	コード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150129710	肺切除術（楔状部分切除）	K5111	○	○	○	○	○	○	○
150129810	肺切除術（区域切除）（1肺葉に満たないもの）	K5112	○	○	○	○	○	○	○
150130350	心筋損傷、心嚢、横隔膜の縫合、胃腹腔内還納等の手術	K5112	○	○	○				
150129910	肺切除術（肺葉切除）	K5113	○	○	○	○	○	○	○
150130010	肺切除術（複合切除）（1肺葉を超えるもの）	K5114	○	○	○	○	○	○	○
150130110	肺切除術（1側肺全摘）	K5115	○	○	○	○	○	○	○
150130650	肺切除と胸郭形成手術の併施した場合	K5115	○	○	○				
150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）	K5116	○	○	○	○	○	○	○
150130810	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又はこれに満たないもの）	K5141	○						

診療行為コード	基本漢字名称	コード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150357810	肺悪性腫瘍手術（部分切除）	K5141		○	○	○	○	○	○
150386610	肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの））	K51410				○	○	○	○
150130910	肺悪性腫瘍手術（1側肺全摘又は1肺葉を超えるもの）	K5142	○						
150357910	肺悪性腫瘍手術（区域切除）	K5142		○	○	○	○	○	○
150317210	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	K5143	○	○	○	○	○	○	○
150358010	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	K5143		○	○	○	○	○	○
150336410	肺悪性腫瘍手術（胸膜肺全摘）	K5144	○		○	○	○	○	○
150358110	肺悪性腫瘍手術（肺全摘）	K5144		○	○	○	○	○	○
150358210	肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）	K5145		○	○	○	○	○	○
150358310	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	K5146	○	○	○	○	○	○	○
150358410	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）	K5147		○	○	○	○	○	○
150358510	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）	K5148		○	○	○	○	○	○
150374510	肺悪性腫瘍手術（胸膜肺全摘）	K5149	○		○	○	○	○	○
150131610	肺縫縮術	K517	○	○	○	○	○	○	○
150287750	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）	K5171	○	○	○	○	○	○	○
150287850	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））	K5171	○	○	○				
150287950	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）	K5171	○	○	○				
150288050	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））	K5171	○	○	○				
150288150	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）	K5171	○	○	○				

診療行為コード	基本漢字名称	コード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150331150	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）	K5171	○	○	○				

3. このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
616[1/9][4/5/6]**	主として抗酸菌に作用するもの	注射	○	○	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○	○	○

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

薬価基準コード7桁	成分名	推奨抗菌薬	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6132401	セファゾリンナトリウム	CEZ	○	○	○	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム水和物	CEZ	○	○	○	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	SBT/ABPC	○	○	○	○	○	○	○

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

%

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
4. SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。
5. CEZの供給停止(2019年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。（代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付）

参考資料

参考値

参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/ 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成31年3月29日)
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>